

目 次

はじめに	1
調査目的	1
調査方法	2
I 調査票A：属性調査	7
1. 性 別	7
2. 年 齢	7
3. 所属機関	7
4. 従事期間	7
5. 年 収	7
6. 最終学歴	9
7. 精神保健福祉士資格保有率	9
8. 精神保健福祉士資格取得経路	9
9. 病院におけるPSWの配置状況	10
10. 病院におけるPSWの所属部署	11
11. PSW業務の占有率割合の意識	11
12. スーパービジョン	11
まとめ	11
II 調査票B：精神保健福祉士の意識調査	13
調査のねらい	13
サンプル数について	13
機関と年代が意識へ与える影響	13
1. 機関別の「遂行」「重視」「自信」の関係	13
1) 業務の遂行度	14
(1) 機関ごとの特徴	15
(2) PSWの業務の遂行度からみた機関ごとの類似性と違い	16
2) 業務の重視度	17
(1) 機関ごとの特徴	18
(2) PSWの業務の重視度からみた機関ごとの類似性と違い	19

3) 業務の自信度	19
(1) 機関ごとの特徴	20
(2) PSW の業務の自信度からみた機関ごとの類似性と違い	21
4) 機関の多様化と PSW 業務	22
2. 年代別の「遂行」「重視」「自信」の関係	22
1) 業務の遂行度	23
(1) 医療機関での年代別遂行度	23
(2) 社会復帰施設での年代別遂行度	23
(3) 行政機関での年代別遂行度	24
(4) 作業所での年代別遂行度	25
2) 業務の重視度	25
(1) 医療機関での年代別重視度	25
(2) 社会復帰施設での年代別重視度	26
(3) 行政機関での年代別重視度	26
(4) 作業所での年代別重視度	27
3) 業務の自信度	28
(1) 医療機関での年代別自信度	28
(2) 社会復帰施設での年代別自信度	28
(3) 行政機関での年代別自信度	29
(4) 作業所での年代別自信度	30
4) 機関別の年代的特徴	30
(1) 医療機関	30
(2) 社会復帰施設	31
(3) 行政機関	31
(4) 作業所	31
5) 年代別の特徴	31
(1) 20 歳代	31
(2) 30 歳代	32
(3) 40 歳代	32
(4) 50 歳代	32
6) 年代と機関からの考察	32
3. PSW の業務と役割	32

Ⅲ 調査票 C：精神保健福祉士の実態調査 35

1. 個別援助業務	35
1) 個別援助業務調査の項目と集計	35
(1) 回答者の所属機関の割合	35
(2) 援助件数	35
①性別 35／②年齢 35／③病名 35／④入院・外来 37／⑤今回の入院期間 38／⑥単身生活者の割合 38／⑦援助の申し出経路 38／⑧援助手段 39／⑨援助対象者 39／⑩援助内容 39	
2) B 調査の遂行度との比較	42
3) まとめ—個別援助業務調査の項目と集計から	42

2. 集団援助業務	43
1) 集団援助業務調査の項目と集計	43
(1) 回答件数	43
(2) 機関別集団援助件数	43
(3) 機関別援助対象者数	44
(4) 機関別集団援助時間	44
3. 関連業務	45
1) 関連業務調査の項目と集計	45
(1) 回答件数	45
(2) 機関別関連業務件数	45
(3) 機関別関連業務時間	46
4. B 調査の機関別集団援助・関連業務遂行度と C 調査との関連から	46
5. 機関別集団援助・関連業務の特徴	47
1) 集団援助件数と機関の特徴	47
2) 集団援助対象者数と機関の特徴	47
3) 集団援助業務時間と機関の特徴	48
4) 関連業務件数と機関の特徴	48
5) 関連業務時間と機関の特徴	48
6. まとめ	49

まとめと課題	51
--------	----

成熟しつつある精神保健福祉士の仕事とこれから	53
------------------------	----

〈資料〉 PSW 業務実態・意識調査票	55
---------------------	----

